

酒



新商品情報 1

パウチと段ボールで構成した、新しいお酒の容器。
「packa酒」新発売

菰樽(1.8L)のガラス瓶とプラスチック製プロテクターを注ぎ口付パウチ「スパウトバッグ」(2L)と段ボールケースに置き換えました。従来の菰樽に比べて量産に適しながらも環境適応性が高く、また外装箱はデザインの自由度も高くなるので、幅広くご利用いただけます。



1.8Lサイズの菰樽は、材料のガラス瓶やプラスチック製プロテクターの生産終了と菰を巻く職人の人手不足により、製造が困難になっていました。



- 使用前～廃棄まで形状が変わらない
- コンパクトさ
- 使用前と廃棄時はどちらも折りたためる
- 分解が難しく、分別しにくい
- 分別のしやすさ
- 容器の分解・分別が簡単 (廃棄物処理に係る環境負荷を軽減)

新商品情報 2

環境に配慮しながらも、プラスチックに代わる実用的な素材&商品。
「もろこしペレット&もろこしキャップ」新発売

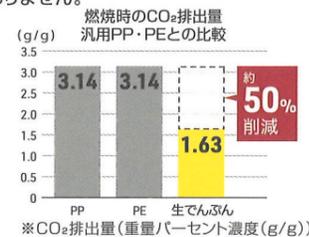
もろこしペレット

のりなどの文具を手がける不易糊工業株式会社との共同開発により誕生。原材料の51.3%がとうもろこし由来の生でんぷん(未加工コーンスターチ)のバイオマス複合素材です。生でんぷんのままペレットに加工しているため、バイオマスプラスチックでなく、まだ分類のない新素材です。



4つの特長

- 特殊製法により誕生**
「でんぷんのり」の製造技術に応用した特殊製法により生でんぷんのままポリプロピレンと混合。石油由来プラスチックと同等のスペックを持つ素材です。
- 優れた成形性**
射出成形及びブロー成形を対象に、既存の設備・金型を用いて製造することができます。成形前の予備乾燥は必要ありません。
- 食品衛生法適合**
改正食品衛生法に適合しているため食品にも安心してご利用いただけます。
- 環境にやさしい**
化石資源及びプラスチック使用量を削減します。また焼却処理で排出されるCO₂も約50%削減できます。



もろこしキャップ

石油由来プラスチックに代わる新素材「もろこしペレット」を使用した、パロンボックス®及びスパウトバッグ用のキャップです。キャップ外蓋に「もろこしペレット」を100%使用しています。



もろこしキャップは、開栓時の耐圧や耐薬品性など各種試験に石油由来プラスチック製標準キャップと同等基準でクリアしていますので、従来品と変わらず安心してご利用いただけます。

3つの環境貢献

- 石油由来プラスチック使用量 約52% 削減
- キャップ1個あたりのCO₂排出量 34.6% 削減
- CO₂年間排出量(キャップ使用量3,000個/月) 年間1t 削減



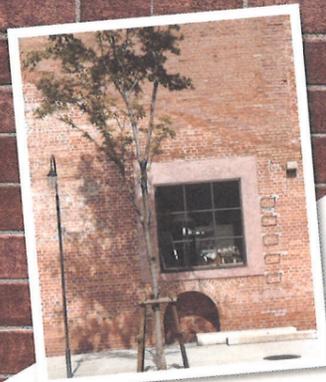
Reborn

四半世紀の時を経てよみがえる赤レンガの記憶

サザンモール六甲B612物語

かつて神戸・灘の街のシンボリック存在だったレンガ造りの「ROKKO23(ヴァントワ)」。
阪神・淡路大震災を乗り越え、2000年に「サザンモール六甲B612」として復興して以来の念願だった
あの懐かしい赤レンガ調の外装が職人の技術により、よみがえりました。

25周年を前に、外壁塗装をリニューアル。 その全容を、エリアごとにレポートします！



神戸・灘のランドマークとして2000年に竣工した「サザンモール六甲B612」。
ショッピングに、カフェやランチにと、多くのお客さまにご来館いただきました。
完成から20年以上の歳月が流れ、徐々に外壁の経年劣化が目立つように…。
そこで、社内外から親しまれ、復活を求める声もあった以前のレンガ造りのイメージを
25周年を迎える前に復活させました。
また棟によっては企業ロゴにちなんだ塗装色を変更するなどして、
かつてのレンガ工場の面影を復刻し、居心地の良い商業施設へと生まれ変わりました。

「六甲バインモール」
(1981年～1990年)時代の外壁

【西側】駐車場外壁

熟練の職人さんが丁寧に塗り込んで仕上げました。

レンガ色を基調とし、ALC造り(※1)でもレンガ造りに再大限近づけるため、高度な技術
を要する「エイジング塗装」の出来る職人探しから始め、レンガ調塗装を導入。エイ
ジング塗装は、長く受け継がれた風合い、親しみ、趣きを演出できます。塗装色の配
分は、職人の感性で仕上げます。

※1 セメントに発砲剤を混ぜたコンクリートを使って作られている建物

工事の様子



【西側】2F事務所棟入口

西側(駐車場側)の外装も懐かしの
レンガ調に還元。2Fウッドデッキや
国道側から事務所棟へお越しの方
は、ここからお入りください。



ホームページでは
空撮画像も公開中！
ぜひご覧ください！

【北側】国道43号沿い

雰囲気はそのままに、さらにレンガ調の塗装でイメージアップ。

国道43号を車で走っていると、以前よりも
存在感が増したように感じます。レンガ工
場の姿を覚えていらっしゃる方には、懐か
しいと感じていただけるでしょうか。



屋根塗装について

2023年・2024年の夏(6～8月)は日本の平均気
温の基準値(1991～2020年の30年平均)より
プラス1.76℃高かったにもかかわらず、遮熱塗装を
行ったことにより屋根裏の最高温度は塗装前の
2022年と比べ、平均でマイナス4℃低くなって
おり、空調効率を上げ省エネにつながりました。

ショップゾーン

レンガ調をベースに、各ショップは棟ごとに色調を変えました。



POINT 1 レンガ塗装について

外壁塗装は「エイジング塗装」と言われる工法で施工しました。一般的な塗装とは異なり、壁の表面に模様や
立体感などをつけます。塗料を3度重ね塗り、サビやキズ等の経年劣化を塗装で表現し、本物のレンガのよう
にしています。凹凸感を出すために、モルタル外壁用の意匠塗材を使用しました。また、耐用年数が、15～20年
と長く、柔軟性のある素材なため、ALC造りの上から塗布してもひび割れしにくいというメリットもあります。



1度目 最初は全体的に下塗りしていきます
2度目 均一に色をつけて徐々にレンガらしくなってきました
3度目 1枚1枚濃淡をつけて本物に近づけていきます
完成 1F事務所棟入口 お車でお越しのお客さまはこちらからお入りください。

POINT 2 「まちづくり協定」について

サザンモール六甲B612は、「酒蔵のまち・歴史のまち」として地
元・新在家南地区まちづくり協定が設定されており、レンガ色
の壁面や南側の壁面色はいずれも色彩景観誘導指針の範囲
外の色味でしたが、まちづくり協定への事前相談・説明を経て
賛同され承認されました。



サザンモール六甲B612上空から見える現在の街並み